



外部インターフェイス

430, 2007 OL-12437-01-J

この章では、ユーザが UNIX サービスと Cisco BTS 10200 ソフトスイッチのセキュリティ面をより効果的に管理するために、Cisco BTS 10200 ソフトスイッチ ソフトウェアで提供されている拡張機能について説明します。

ログインパスワード

この項では、Cisco BTS 10200 ソフトスイッチのパスワードについて説明します。

Ciscouser

「ciscouser」ログインは、アクセスを特定のコマンドに限定した、TAC およびその他の Cisco BTS 10200 ソフトスイッチ サポート担当者向けの高度なセキュリティのログインです。それ以外の誰かがこれらのコマンドを実行しようとする、エラーメッセージが表示されます。

パスワード

インストール後、Element Management System (EMS; エレメント マネジメント システム) 上で、**root**、**btsadmin**、**btsuser**、および **calea** のパスワードがデフォルトの場合、システムはそれらのパスワードを変更するように要求します。Call Agent 上では、**root** のパスワードがデフォルトの場合に、システムがそのパスワードを変更するように要求します。Operations, Administration and Maintenance (OAM; 運用管理および保守) アプリケーションには、デフォルトパスワードはありません。

課金インターフェイス

課金アプリケーションにはデフォルト パスワードはありません。現リリースでは、課金インターフェイスへのその他の変更点はありません。

運用

この項では、Cisco BTS 10200 ソフトスイッチセキュリティ サービスの結果としてユーザ インターフェイスに加えられた変更と、Cisco BTS 10200 ソフトスイッチを実験環境に配備した方法に応じてもたらされた影響について説明します。Cisco BTS 10200 ソフトスイッチの使い方の変更に加え、システムの間接的な変更（直接観察できない変更）についても取り上げています。

Secure Shell (SSH) は、Cisco BTS 10200 CLI/MAINT インターフェイスへのデフォルトのアクセス方式です。SSH の使い方については、『Cisco BTS 10200 Softswitch Operations, Maintenance and Troubleshooting Guide』で説明されています。

オペレータ インターフェイス

Cisco BTS 10200 ソフトスイッチには、UNIX サービスを管理するためのコマンドが追加されています。これらのコマンドは、CLI/MAINT インターフェイスから使用できます。さらに、同じコマンドを CORBA インターフェイスおよびバルクプロビジョニング インターフェイスからも使用できます。これらのコマンドに関連付けられているスキーマとテーブルはありません。それらは、直接 UNIX サービスを制御します。これらのコマンドは、現在のカーネル インターフェイスのライフタイムの間だけイネーブルになっています。カーネルがリブートされると、インストール時のデフォルトにリセットされます。

表 2-1 は、node コマンドを使用して利用可能なシステム サービスを示しています。

表 2-1 UNIX サービス対応の node コマンド

Noun	Verb	オプション	説明
Node	Change	SERVICE (必須) 次のいずれかを指定します。FTP、TELNET、ECHO、DISCARD、PRINTER、DAYTIME、CHARGEN、SMTP、TIME、FINGER、SUNRPC、EXEC、LOGIN、SHELL、UUCP、NFS、LOCKD、X11、DTSCP、FONT-SERVICES、HTTP	変更するサービスを定義します。
Node	Change	ENABLE (必須)	このサービスをオンまたはオフのどちらにするかを示すブール フラグ (Y/N) を指定します。
Node	Change	NODE (必須)	サービスを管理している Cisco BTS 10200 ソフトスイッチ内のノード名。

表 2-1 UNIX サービス対応の node コマンド (続き)

Noun	Verb	オプション	説明
Node	Show	SERVICE (必須) 次のいずれかを指定します。FTP、TELNET、ECHO、DISCARD、PRINTER、DAYTIME、CHARGEN、SMTP、TIME、FINGER、SUNRPC、EXEC、LOGIN、SHELL、UUCP、NFS、LOCKD、X11、DTSCP、FONT-SERVICES、HTTP	表示するサービスを定義します。
Node	Show	Node (必須)	サービスの状態について表示するノードを定義します。

ユーザ アクティビティ コマンド

ユーザ アクティビティ コマンドは、システム上のユーザを管理するために使用できます。ユーザセッションのアクティビティ タイマーは、いずれのスキーマまたはテーブルにも属していません。これは、システム設定トークンです。表 2-2 は、アイドルセッション タイムアウトの Element Management System (EMS) コマンドを示しています。

表 2-2 アイドルセッションタイムアウトの EMS セッション

Noun	Verb	オプション	説明
Session	Change	IDLE-SESSION (10 ~ 30)	Cisco BTS 10200 ソフトスイッチを自動的にログオフするまでに、ユーザが CLI インタフェース上でアイドル状態でいられる分数を定義します。



注意

Cisco BTS 10200 ソフトスイッチの配布後にユーザ アクティビティを変更すると、ネットワーク内でセキュリティ問題が発生する場合があります。

アラーム

これらのセキュリティ パッケージで、変更または追加されたアラームはありません。

測定

これらのセキュリティ パッケージでは、TMM または SNMP MIB を変更する必要はありません。セキュリティ ログと関連情報は、セキュリティを確保するために、他の手段でアクセスされます。

トラブルシューティング

Cisco BTS 10200 ソフトスイッチのトラブルシューティングには、これらのセキュリティ パッケージによる影響はありません。ただし、SSH を使用してシステムにアクセスする場合に、いくつかの問題があります。システムにアクセスするには、システムのすべてのユーザがこのソフトウェア機能を保持する必要があります。これには、Windows ベースの PC ソフトウェアから Cisco BTS 10200 ソフトスイッチへのアクセスを許可するための追加コンポーネントが含まれています。

インストールの問題

セキュリティ パッケージに関連するインストールの問題はありません。自動的に初期インストールの一部に組み込まれ、システム内のパッケージとしてインストールされます。パッケージが削除されると、システムは元のデフォルト状態に復元されます。これらは、パッケージ内のインストール後および削除後のスクリプトによって処理されます。



(注)

これらのセキュリティ パッケージは、通常の Cisco BTS 10200 ソフトスイッチ ソフトウェアのアップグレードのインストール時には、自動更新されません。別の手順で、これらのパッケージをアップグレードします。

システム プロビジョニング

ここでは、システム プロビジョニングのいくつかの例について説明します。FTP をイネーブルにするには、CLI/MAINT プロンプトで次のコマンドを実行します。

```
change node id=priems25; service=ftp; enable=Y
```

Telnet サービスの現在のステータスが、イネーブルまたはディセーブルのどちらであるかを表示するには、次のコマンドを使用します。

```
show node service=telnet;
```

表示例：

```
Success: UNIX Service telnet is disabled.
```

ユーザセッションによって消費されるシステム上のリソースの使用を制御するには、EMS CLI ユーザは、次のコマンドを使用します。

```
change session idle-time=10;
```

